

## 学校関係者評価様式9 【評価報告書】

令和4年7月30日

呉竹鍼灸柔整専門学校  
校長 村上 哲二 殿

学校関係者評価委員会

### 学校関係者評価委員会報告

令和3年度自己点検・自己評価結果に基づき、下記のとおり学校関係者評価を実施したので、その結果を報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 齋藤 武久 (公益社団法人 神奈川県柔道整復師会 会長)
- ② 大淵 真 (一般社団法人 神奈川県鍼灸マッサージ師会 副会長)
- ③ 清水 慎司 (公益社団法人 神奈川県鍼灸師会 会長)
- ④ 戸畑 智秋 (ちあき接骨院・ちあき鍼灸マッサージ院 院長)
- ⑤ 金城 岳大 (株式会社 リライフ 代表)
- ⑥ 佐久間 裕之 (源和鍼灸院 院長)
- ⑦ 阿久津 弘宣 (なおしや はり灸整骨院 院長)
- ⑧ 木ノ内 秀効 (田子浦鍼灸接骨院 院長)
- ⑨ 鈴木 昌子 (在校生保護者)
- ⑩ 岩井 美弥子 (卒業生)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

- ・令和4年12月15日 (呉竹鍼灸柔整専門学校 8階・講堂)
- ・令和4年7月27日 (呉竹鍼灸柔整専門学校 8階・講堂)

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

## I 重点目標について

### 1. デジタル化の推進

学内 VPN の見直しが行われ、セキュリティの向上、通信速度の安定化、コストの削減等が行われた。また、令和 4 年度にはノートパソコンの配備の計画がされ、遠隔授業やリモートワークへの対応を強化するほか、学籍管理システムの導入や教育の ICT 化も継続的に検討されていることを確認した。

### 2. 学修成果の指標の向上

国家試験合格率は全国平均を上回る結果を残し、昨年と比べても合格率が向上している。退学率は 7.6% と目標の数値に収まらなかったものの、前年度と比較して 0.4% 改善した。就職率については、80.9% と前年比で 8.6% 下降した。この要因としては、コロナ禍のため就職活動が十分できなかったことなどが考えられるが、次年度は早めに学生に働きかけて就職活動を支援していくことが望まれる。

また、学生サポートの一環として学生相談室を開設し、スクールカウンセラーによる心のケアなどの支援を行っているほか、スポーツトレーナー志望の学生に対して、プロフェッショナル・スポーツトレーナー・アカデミーを開講し、学生の学習意欲の向上を図っている。

## II 各評価項目について

### 1 教育理念・目的・人材育成像

教育理念、目的、育成人材像等は規程上明確にされており、その周知はホームページ、学校案内、学生便覧等により行われている。

育成人材像は、業団や企業等の外部人材から構成される教育課程編成委員会において業界ニーズに適合するように適宜見直しが行われている。

平成 26 年 3 月には職業実践専門課程として文部科学大臣の認定を受け、特色ある職業教育の実践に取り組んでいる。

学校の将来構想では、まもなく学園創設 100 周年を迎えることから、100 周年プロジェクト P T を編成し、内外に向けた記念事業の準備が進められており、伝統校としてさらなる教育の質の向上と発展が期待される。

## 2 学校運営

学校運営は、理念等を達成するための運営方針及び事業計画等に基づいて行われ、運営組織は、寄付行為、学則、組織運営規程、業務分掌規則等により適切に組織されている。

人事・給与は、就業規則、人事考課規程、給与規程等に基づいて運用されている。同時に、組織の活性化及び人材育成の観点から、新しい人事評価制度を導入する準備が進められている。

意思決定システムは、文書決裁規程に基づいて原義書により意思決定の過程が明らかにされている。

情報システム化では、学生募集、就職支援、成績集計、授業支援システム、経理、ネットバンキング等においてクラウドシステムが導入され業務の効率化が図られている。

情報セキュリティについては、外部からの不正アクセスや内部の情報量出を防ぐセキュリティシステムが導入されている。

## 3 教育活動

教育活動における目標の設定では、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）により方針を明示し、学科ごとに教育到達レベルが明確になっている。

教育方法は、カリキュラムポリシーに則って教育課程を編成し、シラバス等に基づいて適切に実施されている。キャリア教育の評価や授業評価の方法、内容、結果及びフィードバックについては組織的な検証が必要である。

成績評価・単位認定の基準等については、シラバス・学生便覧等に明示されており、オリエンテーション等で学生への説明が行われている。各学年の成績評価及び単位認定は、試験成績等に基づいて教務会の議を経て校長が決定し議事録に記録している。

資格・免許取得の指導体制では、目標とする資格を教育課程上に明記し、最終学年の担任教員が中心となって国家試験対策を行っている。国家試験不合格者に対しては、卒業後も無料で授業を聴講できる聴講生制度を設けているほか、国家試験対策の塾として呉竹塾が開設されており、既卒者向けの国家試験サポートも充実している。

教員組織については、資格要件を備えた教員を確保し、教員研修会や講習会、FD活動等を通して教員の資質の向上に努めるとともに、教育活動に必要な会議、委員会等の組織を編成している。

## 4 学修成果

就職率、資格取得率ともに高水準を維持しており、特に国家試験合格率は全国平均を上回る結果となっている。一方で、柔道整復師国家試験の合格率の向上、就職希望者の卒業時就職率の向上に向けてより一層の対策が望まれる。

卒業生の社会的評価の把握については、校友会組織「呉竹会」、就職先及び実習先との連携や卒業生の取材、関係団体が主催する学術大会等を通して卒業生の社会的評価や活躍状況の把握に努めている。

## 5 学生支援

学生支援では、就職支援体制、退学率の低減、学生相談支援、経済的支援、健康管理、学生寮等の生活環境支援、課外活動の支援、保護者との連携、卒業生への支援など組織的な支援や対策が行われている。

就職支援では、学生の主体的な就職活動を一層支援するため、卒業生によるキャリアガイダンスや就職セミナーなどキャリア支援が計画されているほか、施術フェスタのイベントなども検討されている。就職先となる治療院の情報は可能な限り積極的に把握し学内で情報を共有しておくことが望ましい。

学生相談に関する支援では、教職員による個別面談に加え、スクールカウンセラーによる支援が行われている。

経済的支援では、学校独自の奨学金制度、授業料減免制度、特待生制度が設けられているほか、専門実践教育訓練給付制度や国の授業料等負担軽減制度の対象校となっている。

学生の健康管理では、胸部 X 線検診及び健康診断を毎年実施し、学生の健康状態を把握している。校内や実習先での事故等に備え、学生傷害災害保険及び医療分野賠償責任保険に加入している。県外からの進学者に対しては指定学生寮の案内を行うなど、生活環境の支援も行われている。

課外活動では、公認サークル制度が設けられてはいるものの、サークル数が少ないため、積極的な奨励を通して学生の主体的な活動の支援が望まれる。

保護者との連携体制では、文書や電話での連絡に加えて、保護者会の開催などを通して教育活動の情報や学生指導等について情報提供を行う機会が必要である。

卒業生への支援では、校友会組織を中心とした講習会開催等の支援が行われている。

## 6 教育環境

校舎施設・設備等の教育環境は、関係法令の基準に従って、教育上必要な施設設備を有している。校舎竣工から 20 年が経過する令和 4 年度には、校舎の大規模改修工事が計画されている。

学外実習では、鍼灸院、接骨院、医療機関、介護施設等の実習先を約 100 施設まで増やし、実習調整者と企業等の連携体制を確保している。

防災・安全管理への対応については、関係法令に基づいて適切に対応されている。また、大規模災害を想定した防災備蓄品の充実化への取り組みもされている。

## 7 学生の募集と受入れ

学生募集は、神奈川県専修学校各種学校協会入試倫理要綱に則り、実施時期、選考方法、選考基準などを明らかにした上で適切に行われている。

入学志願者や接続する高等学校に対しては、入学案内、ホームページ、学校説明会、オープンキャンパス、進路ガイダンス等において積極的な情報提供が行われている。

入学選考では、入試委員会による成績判定会議にて決定し、その結果は議事録に記録されている。受験者数や入学者数の動向などは広報委員会にて把握し、学生募集活動や入学試験の見直しなどが行われている。

学納金は、同分野の学校の水準を把握した上、経費内容に基づいた学納金となっている。入学辞退者に対する授業料等の返戻については、学則及び募集要項に明記して適切に対応している。

## 8 財務

財務基盤、財務分析、予算収支計画、監査、財務情報の公表など財務に関する必要な事項は適切に実施されている。

財務状況については中長期的に安定しているが、入学者数の減少より学納金の減収、校舎老朽化対策・建て替えなどによる支出の増加、消耗品・光熱費等の値上げに伴うコストの増加などが経営に影響してくることが考えられるため、引き続き入学者数の安定的な確保と中途退学者の抑制に努めていく必要がある。

予算・決算及び主要な財務数値に関する財務分析は法人にて行い、理事会の監査を受けたのち、ホームページに財務情報を公表している。また、外部の監査法人による内部統制監査を実施し、財務の適正な執行管理が行われている。

## 9 法令等の遵守

関係法令の遵守、個人情報の保護、学校評価の実施、情報公開など適切に実施されている。

個人情報の保護では、日常的に使用するメールやクラウドシステムでの事故防止をテーマにした研修会が計画されている。

自己評価及び学校関係者評価は適切に実施されており、その結果はホームページに公表されている。

教育情報に関する情報公開では、「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づいて、教育活動及び学校運営に関する情報が網羅的に開示されている。

## 10 社会貢献・地域貢献

学校の教育資源を活用した社会貢献では、附属施術所における外来患者の受入や学園祭でのチャリティー鍼灸・チャリティーマッサージの実施などのほか、関連団体の学術講習会や研修会の会場提供なども行われている。

国際交流では、学術交流を目的に上海中医薬大学での短期留学が実施されている。令和3年度については新型コロナウイルスの影響のため、オンラインセミナーとして実施された。

学生のボランティア活動の奨励では、神奈川県体育協会主催の陸上競技やハンドボール大会におけるメディカルサービスステーションのボランティアスタッフとして学生が派遣されている。(令和3年度は新型コロナウイルスの影響のため中止)

社会貢献・地域貢献を行うにあたり、学校施設の開放日や人員スタッフの確保などが課題となっているが、公開講座やボランティア活動など学校の教育資源を活用した取り組みの充実をお願いしたい。

以上